

構成する施策

政策 9 消防・救急体制の充実

29 適切な施設配置と消防力の拡充 32 救急・救助体制の充実
30 火災予防体制の充実 33 消防団組織・施設・装備の充実
31 情報収集・通信指令体制の充実

目標 あらゆる災害に備えた消防活動体制の強化や火災予防対策を進め、救急体制においては、より高度な応急処置技術による救命率の向上に努めます。また、総合的な災害対応力を強化するために近隣消防相互間の広域連携を活用し、市民と一体となった消防行政を推進していきます。

基本方針 さまざまな災害等から市民の生命・財産を守るため、消防・救急体制を充実・整備するとともに、防火・防災意識の高揚を図り、地域ぐるみの自主防火組織の育成・指導に努めるなど、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

考え方

政策の方向性

箕面市市民満足度アンケートにおいては、重要度はやや高く、満足度は高いため、市民ニーズ度は中間層となっている。今後とも、市民の生命・財産の安全性を確保していくための施策を推進するため、成果は「維持向上」していくものとし、資源は近隣市町との連携策を具現化するなど、「維持抑制」するものとする。

成果

資源

成果	維持向上
資源	維持抑制

社会状況の変化

- ・少子高齢化、医療技術の高度化等、社会環境の変化に伴う対応が必要である。
- ・箕面有料道路(箕面グリーンロード)の完成により、トンネル災害に備えるべく資器材の整備が必要である。
- ・消防活動の広域化の動きが本格化する中で、近隣市町との連携策が求められている。

これまでの取り組み

- ・火災件数は平成16年に増加し、死傷者数や全損率が目標より上回ったが、延焼率はゼロであった。
- ・消防車両や資器材等の整備については一定水準の消防力を維持できた。
- ・通信指令装置を更新し、現場到着時間の短縮が図れた。
- ・救命講習の受講者数については、平成17年末の累計で9,895名と年々増加し、応急手当の普及啓発に寄与できた。

課題

- ・市民生活の安全を確保するため、施設維持管理、資器材等の整備が必要である。
- ・消防団活動の活性化や処遇改善を図り、常備消防との連携強化を図る必要がある。

成果指標

成果指標名		基準値	→	目標値
指標	出火率	3.3 件 → 2.97 件		
根拠	火災予防意識の向上を図るため、火災件数の減少が重要であることから、人口1万人当たりの火災件数を指標とする。過去10年間の平均出火率は3.3件で、大阪府4.4件、全国平均4.8件からみて低い状況にあるが、さらに出火率の低減を図り、10%を減じて2.97件を目標とする。			
指標	火災・救急現場到着までの所要時間	5.1 分 → 4.0 分		
根拠	市民の生命・財産を守り、被害の軽減を図るため、覚知から火災・救急現場到着までの所要時間を短縮することが重要であることから、所要時間を指標とする。平均1分の時間短縮を図り、4.0分を目標とする。			
指標	救命率	9.1 % → 13.0 %		
根拠	高度救急化に対応し、救急救命士の養成や応急処置技術の向上、応急手当の普及啓発を図るため、救命率を指標とする。救命率が世界最高とされている米国の各市平均救命率である13.0%を目標とする。			
指標	災害発生時の消防団員の出場可能者数(終日時間の平均)	56.2 % → 66.0 %		
根拠	大規模災害発生時における、消防団員の出勤可能者数の確保を図るため、人的消防力を指標とする。昼間出場可能者数を確保するため、本市消防団員の任用条件等を検討し、現状の出場可能者数から約10%の人員増をめざし、66.0%を目標とする。			